

●● ● 第2章 ●●

計画の基本的な考え方





第1節 基本理念と基本目標

(1) 基本理念

生きていることの幸せをみんなが実感できるまちをめざして

基本理念は第1次プランを継承し、あらゆる人が生きていることの幸せを実感できるまちをめざします。

この基本理念の実現にあたって、以下の3つの基本目標を掲げます。

(2) 基本目標

1

子どもから高齢者まで
みんないきいき暮らす
まち・やちよ

病気や障がいの有無にかかわらず、子どもから高齢者まで、誰もが自分らしく毎日をいきいきと暮らしていくことが重要です。

あらゆる人がQOL（生活の質）の維持・向上に努めながら、生きがいを持ち、自分の能力を十分に発揮しながら、その人らしい暮らしの実現をめざします。

2

みんなのいきいきを
応援しあうまち・やちよ

人生を充実したものとし、こころ豊かに楽しく過ごすためには、健康を支え合う仲間づくりや地域づくりが重要です。

家庭・地域・職場・学校などにおける、家族や友人たちとの関係も健康に影響するため、地域の人々や団体・企業などと協働して、健康なまちづくりをすすめます。

3

健康な暮らしの
環境づくりを
すすめるまち・やちよ

健康づくりをすすめるにあたって、その基盤となる環境をつくっていくことが重要です。

個人の努力以外のさまざまな仕組み、場づくり、人材育成などに行政や関係機関などが積極的に関わり、子どもから高齢者まで誰もが、健やかに暮らせる環境づくりをすすめます。

第2節 基本方針

(1) 市民参画による策定・推進・評価

第1次プランは、市民参画のもとに策定・推進・評価をしてきた結果、八千代市思春期保健ネットワーク会議等の4つの個別プロジェクトが立ち上がり、活発に活動が進められてきました。

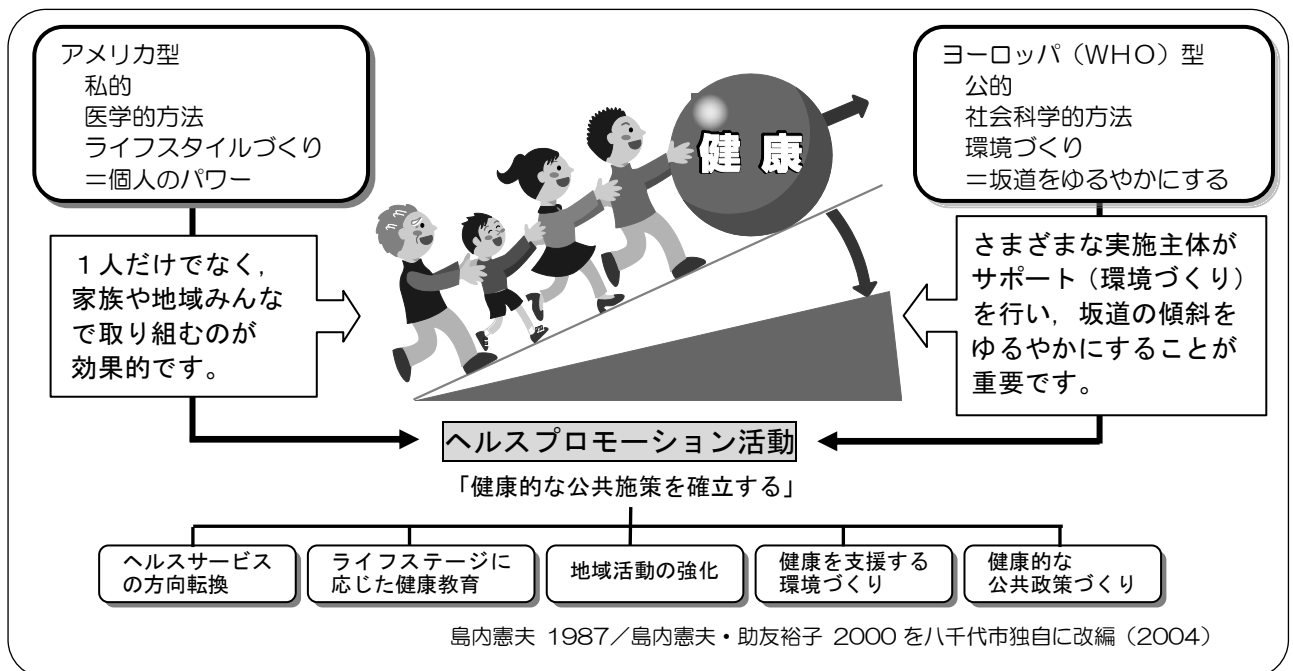
第2次プランにおいても、引き続き市民参画のもと、策定・推進・評価を行います。

(2) ヘルスプロモーションの理念に基づく策定・推進・評価

健康づくりにおいては、「自分の健康は自分でつくり、守る」という意識のもとに市民一人ひとりが取り組むことが大切ですが、専門家や行政が知識や技術を提供するだけではなく、地域社会全体で個人の健康づくりを支援し、取り組みやすくするという視点が欠かせません。

単に体やこころの健康に取り組むだけではなく、たとえ病気や障がいがあっても、その人らしい暮らしを地域で継続できる社会的な健康にも目を向けていく必要があります。お互いの存在を認め合い、助け合える関係を築き、「八千代市に住んでよかった」と思える地域をつくっていきたいと考えます。そのために、「専門家まかせ」「個人まかせ」ではなく、家族や地域の人々、そして行政の施策など、「地域全体の力」で健康づくりを支援するという、ヘルスプロモーションの理念に基づき、策定・推進・評価を行います。

■ヘルスプロモーションの理念





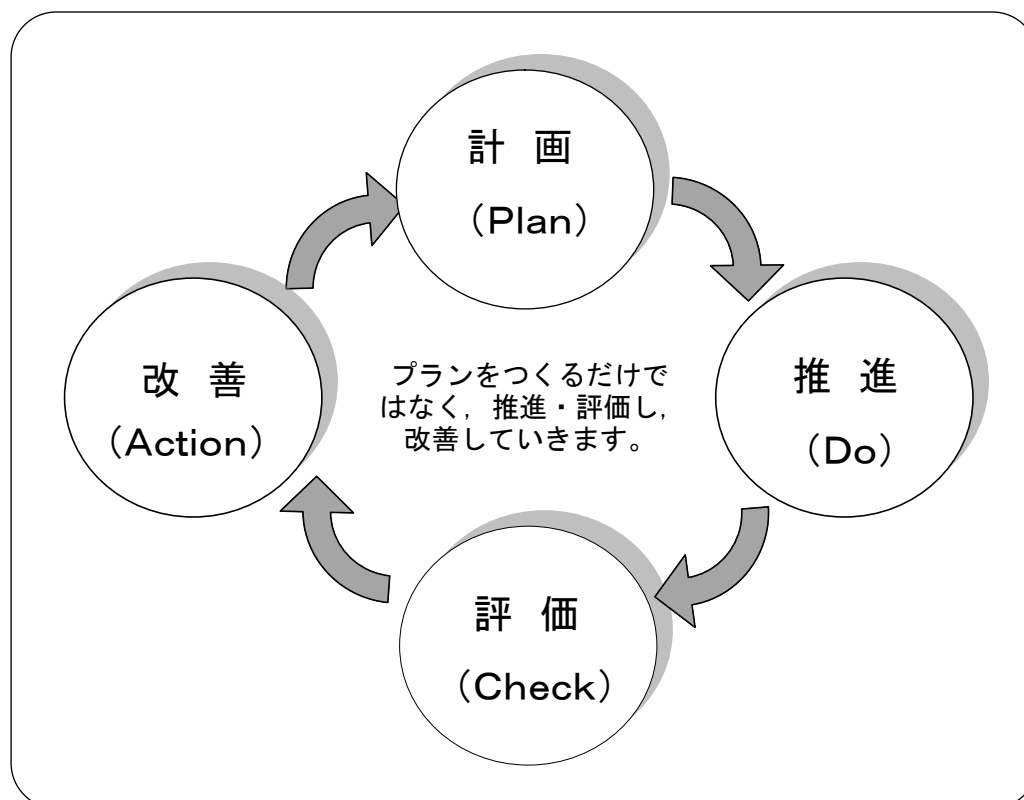
(3) 子どもから高齢者まで、全ライフステージに応じた一体的な計画

本プランでは、子どもから高齢者までの健康づくりの視点を一体的に盛り込み、誰もが八千代市で健やかにいきいき暮らせることをめざして取り組みを推進します。

(4) 可能な限り数値化した指標の設定と、実効性のある取り組み

本プランでは、目標に向けた取り組みを評価するため、可能な限り指標を数値化し、数値目標を設定します。また、行政・関係機関における取り組みにおいては、推進部署を明記し、Plan（計画）→Do（推進）→Check（評価）→Action（改善）の流れを大切にして、実効性のある取り組みを盛り込み、よりよいプランにしていきます。

■プランの策定から改善まで





第3節 計画の特徴

第1次プランを継承しながらも、社会情勢の変化などによる今日的な問題の解消に取り組み、さらに今後10年間を見据えたプランにするために、以下の項目を重視した計画としています。

(1) 健康的な生活習慣のための各ライフステージの健康づくりを推進します

- ①将来的な生活習慣病発症予防のために妊娠期から子育て期の取り組みの推進
- ②生活習慣に起因する要介護状態を予防するための取り組みの推進
- ③各ライフステージにおけるこころの健康づくりの推進

(2) 個人の健康づくりを支える地域活動（地域コミュニティの構築）を推進します

- ①青壮年期からの地域活動への参加促進
- ②市民主体の健康づくりの推進
 - ・既存の住民組織活動（母子保健推進員、支会等）との連携強化
 - ・NPO・市民活動団体との協働の健康づくり
あらゆる市民が自分の経験や得意分野を活かし、地域の中で、市民の健康づくりを支えています。こうしたNPO・市民活動団体と行政は、それぞれの活動の理解を図ったり、活動団体同士の交流やネットワークをつくっていくなど、協働の健康づくりを推進します。

(3) 健康を支援する環境づくりを庁内関係部署や職域保健関係機関と連携し推進します

- ①庁内関係部署の推進計画とタイアップし、健康の視点を持った環境づくりをめざします。
- ②職場の健康づくり（職域保健）について、市内企業等と検討します。

(4) 地域や集団の健康特性に合わせた健康づくりの取り組みを推進します

地域や集団の健康課題を把握し、その課題に応じた健康支援を進めます。

また、本プランを市民・地域・行政や関係機関など地域社会全体の力で推進し、地域や集団に合わせた健康づくりを支援することで、市民の健康リスクの低減をめざします。

(5) 健康に関する情報提供体制を推進します

インターネット化等の推進と並行して、電子データを利用しない市民を考慮した情報提供の工夫に努めます。

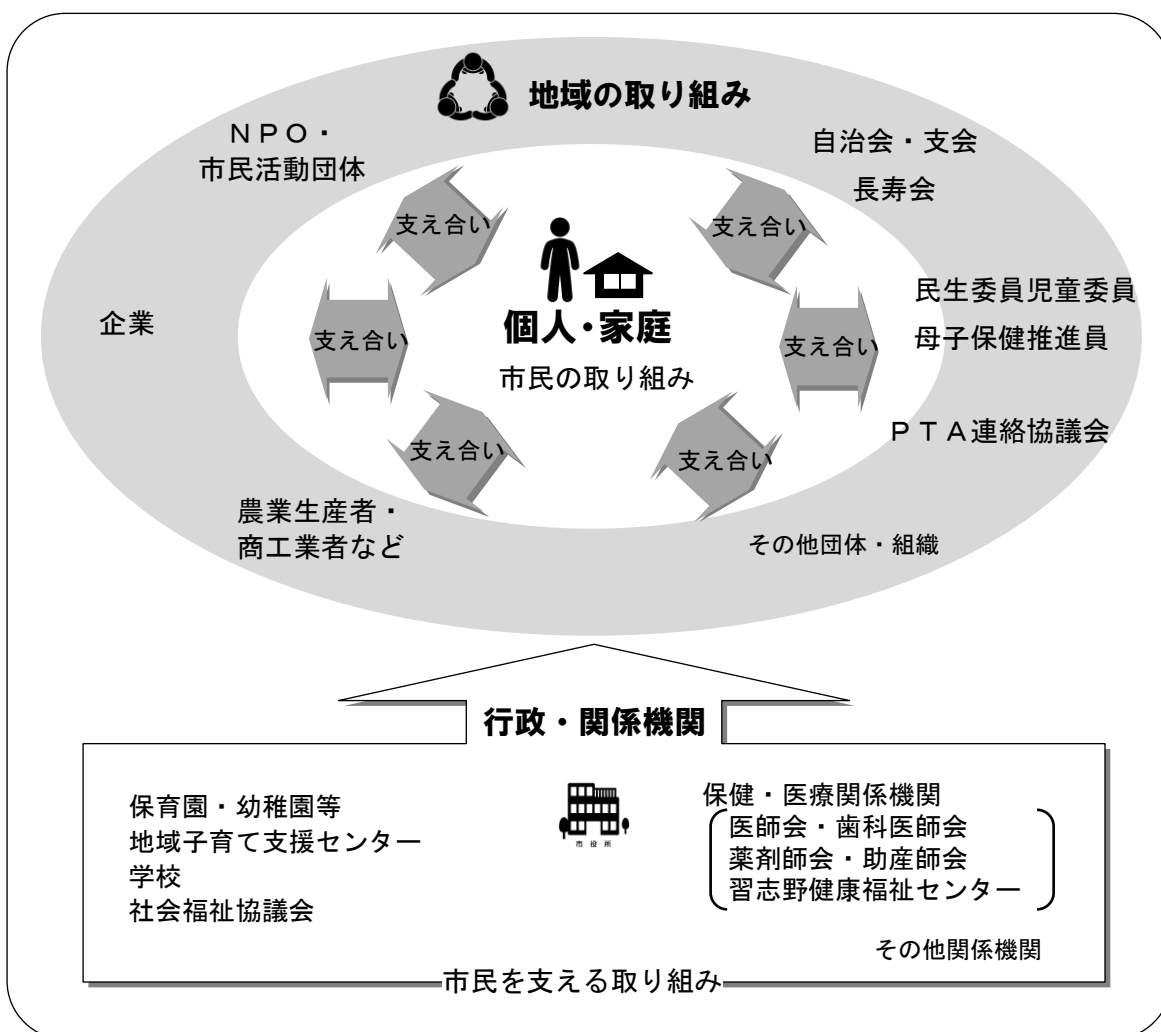


第4節 計画の推進体制

(1) 協働による計画の推進

八千代市全体で健やかなまちづくりに取り組むためには、市民一人ひとりが個別に努力すればよいのではなく、また、行政だけの取り組みだけでは十分ではありません。個人や家庭とそれを取り巻く地域、そして行政や関係機関が、それぞれの活動領域で役割を發揮していくことが大切です。本プランで掲げる取り組みを実行し、基本理念を実現するために、協働による推進を図ります。

■市民の取り組みと、市民を支える取り組み

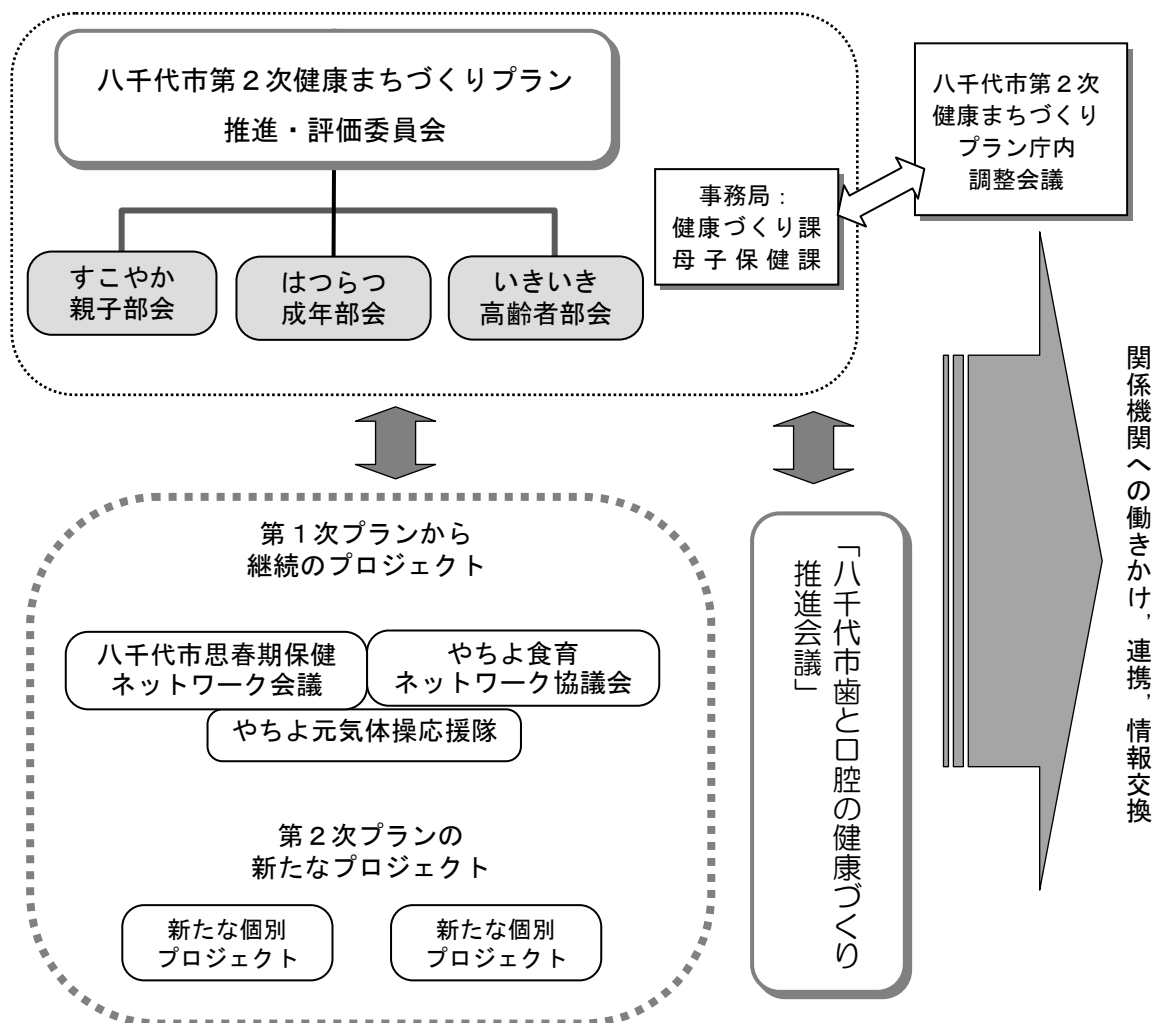


(2) 計画の推進・評価体制

計画の推進・評価・改善にあたり、市民及び策定に携わった関係団体・専門家による「八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会*」を中心として、よりよいプランとなるように努めます。また、「八千代市第2次健康まちづくりプラン庁内調整会議*」にて行政・関係機関の取り組みの推進・評価を行います。

*「八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会」と「八千代市第2次健康まちづくりプラン庁内調整会議」は平成25年度設置。

■推進・評価・改善のための体制



推進・評価については、広報やちよや市ホームページで情報を公開します。



個別プロジェクトにおける推進

個別プロジェクトは、計画で掲げた目標や取り組みをより具体的に推進する母体として活動しています。その活動内容及び活動評価を「八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会」にて報告します。

すでに、第1次プランの推進において、立ち上がった3つの個別プロジェクト「八千代市思春期保健ネットワーク会議」「やちよ食育ネットワーク協議会」「やちよ元気体操応援隊」は、本プランにおいても、引き続き目的に沿った活動を進めます。

また、本プランを推進する中で、必要に応じて新たな個別プロジェクトを立ち上げ推進します。

(3) 計画の評価の具体的方法

評価にあたっては、「目標がどの程度達成されたか」という結果だけではなく、「そのためにどのようなことに取り組んだのか」という、プロセス（過程）を重視します。

①平成 29 年度に中間評価

中間評価年度においては、平成 23 年度に第2次プラン調査で把握した調査項目と同様の実態把握を行い、目標に向けた具体的な取り組みの進捗状況調査とともに、総合的な評価を行います。その結果、必要に応じて、計画の改訂を行います。

また、平成 34 年度には最終評価を行います。

②継続的なデータの蓄積と年度ごとの見直し

平成 29 年度における中間評価だけではなく、平成 25 年度以降は、主に重点取り組みに関わる行政・関係機関の取り組みの進捗状況や国・県などの統計データ及び市の事業実績を把握し、年度ごとに見直しを行います。

(4) 八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例との関連

「八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例」に掲げた理念の推進のため、平成 25 年度に設置する「八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議」の中で、歯と口腔の健康づくりに関する施策については、他計画との連携を図りながら推進します。

推進の経過や成果などは「八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会」にて報告します。

